NTT株式会社

https://group.ntt/jp/

《将来に向けた取組方針》

私たちNTTグループは、“Your Value Partner”として、事業活動を通じた社会的課題の解決に取り組み、人と社会と地球がつながる安心・安全で持続可能な社会の実現に貢献します。私たちは、グループ事業全体にわたって環境負荷を低減し、ICTの利活用による社会全体の環境負荷低減に取り組み、さまざまな地球規模での環境問題の解決に努めます。生物多様性と事業との関わりを把握し、生物多様性を将来世代に引き継ぐために取り組みを推進します。

〈具体的取組み事例〉

1）鳥獣害低減に向けて、ICTを活用した鳥獣ソリューションを提供(2011～)

2）捕獲されたジビエ利活用に向けた、個体識別情報、販売マッチングのシステム化(2018～)

3）日本ジビエ振興協会※が日本フードサービス協会と提携(2018～)。ジビエ認証制度制定に向けた提言

※NTTグループ会社が参画

鳥獣ソリューション

〈具体的な成果〉

・80以上の自治体に獣害ソリューションを展開
・ロッテリア、柿安等がジビエ肉加工食品を販売
・ジビエ認証制度制定、複数食肉加工施設が認証取得

〈今後の課題等〉

1）市場での需要が高まる中、認証施設がまだまだ少ないため供給量が追い付かない

2）猟師始め、施設運営に関わる人が高齢化の影響により担い手不足している

3）国の認証制度による基準は出来たが、正しい情報が行き届いていない

〈社会に向けたメッセージ〉

『地域の厄介者を地域の資源』

有害鳥獣はその生息数と分布域を急速に増やしており、高山のお花畑や森林の植生が食べつくされるなど、生物多様性保全に影響が出たり土壌が流出したりする被害が拡大しています。

NTTは有害鳥獣の捕獲から活用までをICTで支援することにより、生物多様性保全や資源循環対策に取り組んでまいります。